

# 定例会開催

平成23年度当初予算成立 一般会計65億7,564万9千円

平成23年第1回定例会（3月7日～10日）が開催され、条例2件、村道路線の認定2件、予算14件、指定管理者の指定を上程、全議案を原案どおり可決した。また、最終日には追加議案が提出され、村議会議員定数条例可決（4名削減）、広域行政事務組合議員に今村六王議員を選任、請負契約変更、教育委員に山村玲子さん、固定資産評価審査委員会委員に古澤群雄氏、後藤富雄氏、宮崎弘二氏、固定資産評価員に佐竹和也氏の選任に同意した。

※23年度予算概要については、村広報4月号に掲載されています。

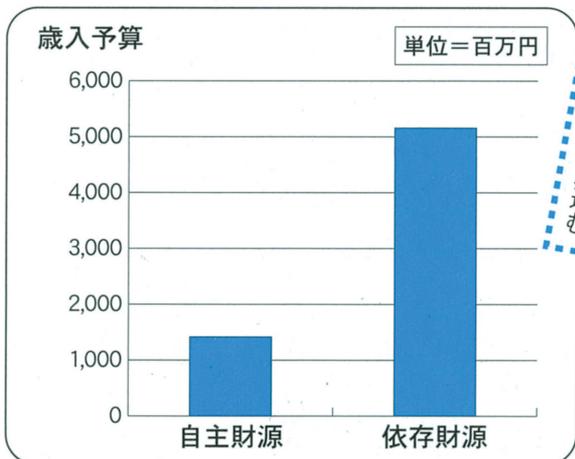


議会活動方針

厳しい時こそ和 力を合わせ

南阿蘇村議会議長 興梠 実

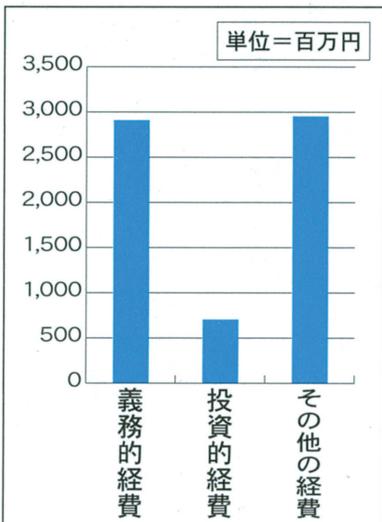
未曾有の大災害発生から2ヶ月。このような危機的状況下、議会が果たす役割は大きく、村民の期待も計りしれないものがあると認識しています。そこで議会運営に当たりましては、村民の意見に真摯に耳を傾け、公正公平な立場で、議論の過程を明らかにしながら、ルールに則りその方向を決定していきます。そして常に改革意識を持ち、効率的な議会運営や情報公開に努め、開かれた村議会づくりに努めます。以上を基本姿勢として、先般の定例会では、議員発議による議員定数を4名削減、常任委員会の傍聴を実施しました。今年度も村民の福祉の向上と、安心・安全を確保し、村民生活を守るため、よりよい議会運営を目指して、精一杯努力をしまる所存であります。村民の皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。



自主財源は前年度対比 4,000万円減

**歳入総額**では、約4億円増の予算額。  
 主な内容は、長陽中学校区の小学校統合に伴う村債の発行、国・県の交付金の増額。下記の表「村税歳入状況」では私たちが納付する税が年々減少・即ち村民総所得が減少している。

## 歳入予算に見る特色



**歳出約66億の一般会計予算の中、政策的に使える予算「投資的経費」は、左記の表で見ると通り意外と少ない。村民・議会・執行部共に知恵を出し合い、無駄のない予算立てが求められる。**

## 歳出予算に見る特色

